

令和5年度6月補正予算

新規事業含め約5億6,150万円追加

3月の第1回定例町議会に提案しました令和5年度当初予算は、町長選挙のため新たに取組む事業や政策的な予算を除いた骨格予算として編成されていました。

6月補正では、投資的事業や政策的な予算を組み、当初予算と合わせて今年度のまちづくりを進めていきます。補正後の各会計予算は表のとおりです。

単位：%

| 会計名 | 令和5年度 | | | 令和4年度比 当初予算額(B) | 比較 (A)-(B) = (C) | 伸び率 (C)/(B) × 100 |
|-----------------|------------|-----------|----------------|--------------------|---------------------|-------------------------|
| | 補正前予算額 | 補正予算額 | 補正後の 予算額(A) | | | |
| 一般会計 | 44億9,405万円 | 5億1,725万円 | 50億1,130万円 | 48億3,510万円 | 1億7,620万円 | 3.6 |
| 国保健康特別 保険会計 | 8億3,770万円 | | 8億3,770万円 | 8億2,010万円 | 1,760万円 | 2.1 |
| 後期高齢者医 療特別会計 | 1億190万円 | | 1億190万円 | 9,920万円 | 270万円 | 2.7 |
| 介護保険特 別会計 | 6億2,760万円 | 4,425万円 | 6億7,185万円 | 6億2,950万円 | 4,235万円 | 6.7 |
| 下水道事業 特別会計 | 2億7,530万円 | | 2億7,530万円 | 2億4,910万円 | 2,620万円 | 10.5 |
| 合計 | 63億3,655万円 | 5億6,150万円 | 68億9,805万円 | 66億3,300万円 | 2億6,505万円 | 4.0 |

※千円単位は四捨五入しています。

| | |
|---------|--|
| 投資的事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史館下屋屋根修繕事業 (3,862千円) ・パークゴルフ場整備事業 (3,198千円) ・中学校吹奏楽部用備品購入事業 (930千円) |
| 補助奨励費 | <ul style="list-style-type: none"> ・産地生産基盤パワーアップ事業補助金 (43,795千円) ・飼料高騰対策事業補助金 (24,315千円) ・持続的畑作生産体系確立緊急支援事業補助金 (24,013千円) ・麦・大豆生産技術向上事業補助金 (1,850千円) ・コミュニティ活動支援事業補助金 (1,800千円) ・農業後継者育成事業補助金 (1,800千円) ・自給飼料確保推進事業費補助金 (1,290千円) ・ジャガイモシストセンチウ対策支援補助金 (1,200千円) ・きらきら本舗運営費補助金 (1,000千円) ・スマート農業利用推進事業補助金 (800千円) ・わくわく地域づくり活動支援事業補助金 (500千円) |
| その他事務事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 (36,773千円) ・物価高騰対策生活支援商品券事業 (23,033千円) ・福祉事業所特別支援金事業 (13,000千円) ・自治体LINEシステム導入事業 (1,991千円) ・子ども医療費助成事業 (1,396千円) ・空き家活用定住対策補助金 (1,188千円) ・特定不妊治療費助成 (600千円) |

各種事業などの詳しい内容については、今月号広報と一緒に配布しています冊子の「令和5年度よくわかることの仕事」をご覧ください。

新規事業の一部を紹介します

住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

エネルギー・食料品価格などの物価高騰による負担増加を踏まえて、住民税非課税世帯などに対して、1世帯当たり3万円を給付します。また、町単独の事業として住民税が均等割のみ課税されている世帯など（所得割非課税世帯）に対しては、1世帯当たり1万8,000円を給付します。

物価高騰対策生活支援商品券事業

電力・ガス（LPガスを含む）をはじめとするエネルギーなどの物価高騰により、大きな影響を受けている町民の皆さんの生活支援と町内経済の活性化を図るため、1世帯につき1万円の「元気なまちづくり商品券」を全世帯に配布します。

詳細については、今月号広報7ページ「元気なまちづくり商品券を配布」をご覧ください。

子ども医療費助成事業

子ども医療費助成制度を8月1日に改正し、現在、中学生までの医療費助成を高校生までに拡充します。詳細については、今月号広報13ページ「8月から子ども医療費助成を高校生まで拡大」をご覧ください。



自治体LINEシステム導入事業

自治体LINEシステムを導入し、LINEアプリの利用によって町民個々のニーズに合わせた生活・防災情報の配信、災害時における道路や河川の情報を町民から行政へ届ける機能のほか、町の各事業に関する予約機能を導入予定です。

本町は、システム構築後、9月からLINEの開始を予定しています。

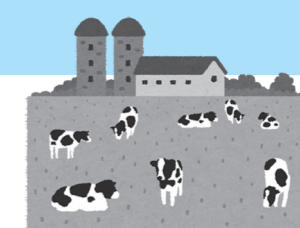


飼料高騰対策事業補助金

国際情勢の影響により、配合飼料価格や輸入粗飼料の価格が急騰したことで、生産コストが上昇し、畜産経営の状況が悪化しています。

そのため、国産粗飼料利用拡大や生産コスト上昇分にかかる町独自の補助金を交付し、畜産生産基盤の維持と強化を図ります。

○対象畜種 乳用牛（単価 6,400円）、育成牛（単価 5,000円）、肉用牛（単価 1万1,000円）
馬（単価 5,000円）、鶏（単価 1,000円）、養蜂（単価 300円）



自給飼料確保推進事業費補助金

ウクライナ情勢に伴う穀物価格の上昇などにより配合飼料価格が上昇している中、町内における粗飼料自給率の向上を目的に牧草地の更新、デントコーンの面積拡大を推進することで、酪農経営の基盤強化を目的として、種子代に対して助成します。

○事業主体 きたみらい農業協同組合

○補助内容 草地更新予定面積70haで10a当たり1,100円を助成します。デントコーンの増反予定面積40haで10a当たり1,300円を助成します。また、きたみらい農業協同組合でも同額を助成します